

## 公共施設整備検討会議設置要綱

### (設置目的:要綱第1条)

新たな公共施設の整備に関し、**駅前周辺地区での立地誘導を前提に**、道の駅るもい周辺地区とも一体となった賑わいや交流拠点として必要な機能や役割、行政機能の集約化のほか、民間誘導の可能性などについて検討を行い、その検討結果を新たな公共施設整備に関する基本構想に反映。

### R2での協議

#### 【議論の出発点】

- ①市民の憩いと交流や活力を生む重要な拠点施設である**社会教育施設**(文化センター、中央公民館、スポーツセンター等)の老朽化に際し、建替を念頭とした整備計画の検討が課題。
- ②**立地場所**については、道の駅から、駅周辺、中心街への歩行空間の確保と、まちなか住宅地からのアクセス、さらには、まちなか以外の居住エリアからの交通アクセスを確保することにより、「まちなか」**としての役割を発揮できることを期待し、駅前周辺地区への立地を誘導し**、廃線後の賑わい再生を図りたい。

#### 公共施設更新(再整備)が基本

既存同類機能ベースを基本に、他の機能集約も視野に駅前周辺地区へどのように整備するか…

#### <検討会議の主な意見(第2回)>

- 駅跡地活用ありきで「まちなか」ではない。社会教育施設などの集客施設は「街の中心」に立地すべきで、「まちなか」がどこかを踏まえて検討が必要。
- 現在の「まちなか」というよりも、どこに「まちなか」をつくっていくかという議論が大事。
- 交通結節機能やネットワーク機能と結びついた整備が必要。
- 集約化や複合化が基本。市営住宅、学校、幼稚園や市役所などの誘導も合わせて検討が必要。
- ホール機能は必要。会議室は縮小し、防音室等の機能が必要。民間収益施設との複合化や良好な交通アクセス確保と十分な駐車場スペースの確保。
- スポーツセンターと文化施設は必ずしも一緒である必要はないのでは。

#### 現時点では「駅前周辺地区を候補地」としながら検討を進める

但し、市民アンケート等有効な提案が出た際には、再検討

#### <次年度に向けた検討課題>

- ①**施設の機能、役割(設置目的の明確化)**  
単純な同類、同規模、同機能(社会教育)の建替更新ではなく、機能の見直しや複合化なども視野に入れた検討が必要。
- ②**機能連携による効果が発揮できるものは何か**  
公共交通、商業、市民活動、民間サービス(収益事業)など、連携することで機能向上が図られる組み合わせ。

#### ●その前に・・・

**駅前周辺地区の今後の目指す姿、まちづくりをイメージしながら、どのような公共施設が相応しいのか、公共施設が担うべき役割はどうあるべきか。**

公共施設の立地誘導の前に整理が必要では

### R3における協議の視点

- 総合計画市民会議:生活拠点(まちなかの中心)の概念

駅周辺地区の性格、位置づけも整理し、反映

#### →【議論の再出発】

- ①公共施設の整備を考えるのに併せ、**駅周辺地区のまちづくりや性格と、その中で中核となる公共施設が担う役割がどうあるべきか。**
- ②市の公共施設の課題との結びつき。(庁舎、社会教育施設の老朽化、施設の集約化など)

#### まちづくりの視点から求められる施設機能とは

公共施設で引き受けられる役割、既存の社会教育施設に縛られない、新しい機能概念を考える。

・従来の公共施設の役割も踏まえながら、必要な機能+既存の社会教育施設に入る複合的機能が相乗効果を生むような「新たな公共施設」について検討。

#### <令和3年度第1回以降>

- 論点) 駅周辺地区に求められる性格と、拠点となる公共施設の機能、役割について(仮)

#### <検討テーマ案>

- ・エリアの潜在性、資源(人、モノ)、要素
- ・まちづくりの主要テーマ、理念
- ・拠点施設の役割と周辺活動(施設)との連携
- ・+αとして社会教育機能が担う領域

・市民ワークショップ、アンケートなどにより、多様な市民意見を聴取。

#### <まとめ>

駅周辺エリアのまちづくり

必要な施設の機能・役割

+

機能連携

(市へ提案のとりまとめ ※令和3年度中)

次年度以降、市の基本構想へ反映